

中世の歴史に彩られたまち

備前長船

ぐるり福岡 まち歩き 一周ガイド



備前福岡の歴史的有名な事項

奈良時代	官僧報恩大師が備前四十八ヶ寺の一つとして「岡隆山（こうりゅうざん）葉王寺を創建。今も残る「旦過（たんが）」という地名が当時の賑わいを物語る。
平安時代	福岡の名は「福岡の庄」として、1165年（永万元年）南部一乗院記録に初見される。荘園時代の「福岡の庄」の範囲は、ここ福岡村が東端で、西へ約4キロの砂川の平島あたりまでの16ヶ村からなる広大な地域だった。
鎌倉時代	1208（承元2年） 後鳥羽上皇が天下の刀匠の中から選び、月番をもって太刀を鍛えられたが、選ばれた者の大半は福岡の刀匠であり、平安時代末から鎌倉時代中頃に掛けてが、福岡一文字派の黄金時代であった。
	1278（弘安元年） 一遍上人「福岡の市」で、説法をする。
	1325（正中2年） 「福岡庄」東寺領となる（室町末期荘園消滅まで）。
室町時代	1350（観応元年） 將軍足利尊氏、その子直冬鎮定のため、8,000人を引きつれ西下の途中、福岡に40日駐留する。
	1371（応安4年） 九州探題として西国に下向した今川貞世の紀行文「道ゆきぶり」に、福岡の繁栄ぶりが書かれている。
	1377（天授3年） 本庄山実教寺創建。 福岡の市は、定期市から常設市となり、守護・守護代が置かれた「守護城下町」と栄えた「中世の商都」時代。
	1403（応永10年） 教意山妙興寺創建。
	1467（応仁元年）～ 1485（文明17年） この間、赤松・浦上と山名・松田両軍により、福岡城攻防の合戦が3次にわたり行われた。
	1523（大永3年） 近江の国から福岡に移住した黒田高政は、この年、死亡したといわれ、その子重隆と孫職隆は2年後に福岡より播州に移り、小寺家に仕官している。
	1536（天文5年） 天文の始め宇喜多直家、父興家とともに福岡の豪商阿部善定方に寄宿、この年、興家死亡と伝えられる。
1573（天正元年） 岡山城主となった宇喜多直家は、城下町作り着手し、備前福岡の商人らを岡山に移住させる。	
安土・桃山時代	吉井川の大洪水により福岡は甚大な被害を受ける。
	1591（天正19年） 筑前52万石に封ぜられた黒田長政は、居城を備前福岡を偲び福岡城と命名する。
江戸時代	1642（寛永19年） 福岡が岡山藩の設定した13の在町の一つとなる。
	1645（正保2年） 苅屋城主池田輝興、福岡に幽居の身となる。 城下町並に再整備される。
	1664（寛文4年） 福岡上道郡より邑久郡に編入される。
	1856（安政3年） 渋染一揆で、福岡河原へ約3,000名が集結。
明治・大正・昭和時代	1943（昭和18年） 首都遷都計画の第一候補地となる。 戦後しばらくまでは、「福岡に行けば何でもそろう」といわれていた。
	1990（平成2年） 西日本唯一の縄文大木の埋木大量出土 2006（平成18年） 備前福岡の市・大市始まる。 2008（平成20年） 夢街道ルネサンス「備前福岡七小路往来」認定。

備前福岡は国宝「一遍聖絵」の中に「福岡の市」が立つ場所として描かれ、歴史教科書にも紹介されています。鎌倉時代に定期市として始まった中世「福岡の市」は常設市へと発展し、室町時代の備前福岡は山陽道で最大級の商都として栄えました。その繁盛ぶりは、関ヶ原で戦功のあった黒田長政が筑前52万石の大名として築城の際、先祖が暮らした備前福岡にちなみ、福岡城と名付けたことにも現れています。また、備前福岡の商人たちは岡山の一大商店街「表町」の基礎を築くなど、各方面に足跡を残しています。

およそ700年の時を経て2006年3月、現代版「備前福岡の市」が産声をあげました。福岡の市史跡碑に隣接する竹藪を地元住民が切り開き、近隣の農業者・商工業者10数組が出店した手作りの市でした。その後、毎月第4日曜日開催の定期市となり、現在に至っています。4月と11月には「備前福岡の大市」として、中世に常設市があった備前福岡の大通り「市場小路」で地域を挙げて盛大に開催されます。

私たち、観光ガイドがご案内します



中世の城下町、山陽道随一の商都の面影を今に残す備前福岡を、私達観光ガイドが誠心誠意ご案内させていただきます。ご連絡お待ちしております。

● ご予約は、2週間前までに瀬戸内市観光協会
0869-34-9500 までご連絡願います。

発行：瀬戸内市観光協会 TEL0869-34-9500



- 5 七つ井戸
- 4 黒田家墓所
- 3 宇喜多興家墓
- 2 妙興寺の大イチョウ
- 1 教意山妙興寺



①教意山妙興寺
 (きょういざんみょうこうじ)
 教意山妙興寺本尊は三宝尊、脇士は四天王。応永10(1403)年、播磨の国主・赤松則興の子、日伝上人によって創建された日蓮宗の寺院です。本堂には鬼子母神がまつられており、毎月8日の晩に鬼子母神講が営まれています。



③宇喜多興家(おきいへ)墓
 岡山城を築いた宇喜多直家の父興家は、福岡の豪商・阿部善定の保護を受けてこの地で過ごしました。天文5(1536)年に病死し、墓とも供養塔とも伝えられるものが妙興寺にあります。



④黒田家墓所
 黒田官兵衛孝高(如水)の曾祖父高政のものと伝えられる墓石が妙興寺にあります。慶長5(1600)年、官兵衛の子長政が博多の西に城を築き、祖先の故地にちなんで福岡城と名づけたといわれています。



⑤七つ井戸
 「備前福岡名所町、七口、七つ井戸、七小路」とい伝えられているように、田舎では珍しく広い道路によって区画されています。七つ井戸は各小路にひとつずつあり、生活用水や防火用水に利用されていました。



⑥仲崎邸(国指定登録有形文化財)
 地元名棟梁のもとに最高の技と素材が集結した名建築で、「福岡千軒」と謳われた「商都」の繁栄をも彷彿させます。



⑩備前福岡郷土館
 国宝一遍聖絵「福岡の市」場面デジタルコンテンツ公開
 ●10時~15時
 ●土・日曜日開館、入場無料
 大正3(1914)年に建てられた洋風の病院の建物を利用して、福岡ゆかりの武具や生活用品、医学書など多彩な品々を展示しています。



⑫福岡の市跡
 福岡の市は、鎌倉時代福岡庄で開かれていた定期市のひとつだったと推定されています。弘安元(1278)年、一遍が福岡の市で説法する様子を描いた国宝『一遍聖絵』は、当時の風俗を知るうえでも貴重なものです。
 ■平成18(2006)年3月より、毎月第4日曜日に現代版備前福岡の市が復活しています。(4月と11月は大手)



⑮備前一文字造剣之地碑
 福岡の名が天下に知れ渡るようになったのは福岡一文字によってです。福岡一文字は長船とともに名刀の代名詞になりました。
 ※山鳥毛は福岡一文字最盛期に作られたとされる日本刀で、上杉景勝の愛刀の一口とされる。(国宝)

6 仲崎邸

7 中世守護城下町
 ひだひすみ
 巖と歪

8 薬王寺跡

9 古い町並み

10 備前福岡郷土館

11 縄文埋れ木

12 福岡の市跡

13 木野山神社
 恵美須宮

14 四ツ角と市場小路

15 福岡一文字碑

16 福岡城跡の丘

17 地蔵堂

18 福岡
 だんじり庫

19 牛神様

20 実教寺跡

21 摩利支天堂